

令和元年度国立高等専門学校機構初任職員研修会報告

第二技術班 藤井 奈穂子

1. 参加目的

職員としての心構えを自覚するとともに、必要な基礎的知識の習得および資質の向上を図ることを目的として参加した。

2. 開催要項

主催：独立行政法人国立高等専門学校機構

期間：令和元年5月20日（月）～5月22日（水）の3日間

会場：学術総合センター2階 中会議場（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

日程表：

| 5月20日（月） | 5月21日（火） | 5月22日（水） |
|--|---|--|
| 【開講式】 【講話】 「国立高専の概要と現状」 「コンプライアンスについて」 「情報セキュリティについて」 【先輩講話①～④】 【講話】 「教員から職員に期待すること」 【グループワーク】 「将来像～10年後の自分」 【情報交換会】 | 【講義・ワーク】 ・仕事の進め方 ・報告・連絡・相談 ・タイムマネジメント ・TODO タスク管理 ・PDCA サイクル ・チームワーク ・ビジネスマナー 【理事長講話】 「初任職員のみなさんに向けて」 【講義・ワーク】 | 【総合演習】 「前日の振り返り」 「KOSEN PR リーフレット作成」 【研修のまとめ】 【閉講式】 |

3. 参加報告

3. 1 講話

非常勤職員として高専での職務を経験していた為、既知の事項もあったが、予算の仕組みや高専機構の仕組みなど、初めて知ることも多くあり、勉強になった。

アクティブラーニングを取り入れた講話もあり、高専の現場で行われてい

る教育を体験することができた。

先輩講話では、本部事務局事務職員や各高専の事務職員、技術職員の先輩方の話を聴講することができた。特に鶴岡高専の技術専門員の方は、同じ化学系の技術職員で高専 OB という共通点もあり大変興味深く、仕事と家庭を両立させながら研究に励まれている姿は、まさに私が目標としている姿そのものであり刺激を受けた。

3. 2 講義・ワーク・総合演習

グループワークは 3 日間のうち何度か実施され、その都度メンバーを変えて行われたので様々な人との交流ができた。

電話対応や名刺交換などのビジネスマナー研修もあり、社会人としての対応の仕方を初心に戻って学び直す良い機会となった。

「KOSEN PR リーフレット作成」ではグループごとにテーマが割り当てられており、私達のグループは「高専と地元の進学校で迷っている中学生向けの PR リーフレット」を担当した。高専と進学校との違いや、高専でなければできないことなどを議論し、「ものづくり」に重点を置いたリーフレットを作成した。

4. おわりに

今回の研修に参加して、高専の予算の仕組みや運営などについて学ぶことができた。また、高専の現状を知ることにより、今後の業務への取り組み方について考える良い機会となった。

様々なグループワークを通して、一人一人職場や環境が異なっても、同じ目標を定めることで達成することが可能であることがわかり、協調性の大切さを実感することができた。

今後約 20 年職務に励むことになるが、時にはこの研修のことを思い出し、初心を忘れないように努めたい。